

## 「原子力発電所の地震安全問題に関するワークショップ」報告

平成 21 年 12 月 10 日に、日本地震工学会内に設けられた「原子力発電所の地震安全問題に関する調査委員会」の活動の一環として、標記ワークショップが開催されました。本ワークショップは、新潟県中越沖地震における柏崎刈羽原子力発電所の教訓を受け、そこで得られた数々の知見を最終的に地震工学的な立場から研究ロードマップとして取りまとめ、今後の原子力発電所の地震安全にフィードバックすることを目的とします。

### プログラム

- |                        |                  |
|------------------------|------------------|
| (1) 委員会活動概要とワークショップの主旨 | ( 亀田委員長 )        |
| (2) 地震・地震動             | ( 安中正委員 )        |
| (3) 地盤                 | ( 中村晋委員 )        |
| (4) 構造物 - 地盤の相互作用      | ( 吉田望委員 )        |
| (5) 建屋・建築物             | ( 今塚善勝委員 )       |
| (6) 機器・配管              | ( 藤田聡委員・皆川氏 )    |
| (7) 免震                 | ( 菊地優委員 )        |
| (8) 全体討論               | ( 亀田委員長、高田副委員長 ) |

今回は、上に掲げた地震工学の要素技術に関して、原子力施設の地震安全に係わる技術課題を抽出し、それをロードマップに適切に反映するという本委員会の主旨から、技術課題をできるだけ網羅的に、かつ優先順位を付けて討議することを目指しました。

多様な技術課題について討議することから、今回は委員会以外の方々にも公開しました。参加者の内訳は、委員会関係者 27 名に対し、一般参加（電力関係、ゼネコン、コンサル等）44 名となっており、実務に携わる方々の原子力発電所の地震安全問題に対する関心の高さが伺えました。

討議を通して、「リスク論に基づいた基準地震動  $S_s$  の意思決定ルール」、「設計と評価の捉え方」、「人材育成や国際貢献に対する取組み」など、数多くの技術課題が抽出されました。

終日にわたる討議でも議論は尽きませんでした。各技術課題の意義・位置づけ、重要性などが包括的な視点から明らかになり、参加者のアンケート結果からも有意義なワークショップであったと思われます。委員会では、今回挙がった意見も踏まえ、原子力学会等の他学会との連携を図りながら、今後約 1 年間をかけてロードマップとして取りまとめます。



亀田委員長の主旨説明



ワークショップの状況

( 文責：事業企画委員会 独立行政法人原子力安全基盤機構 中村 英孝 )